

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ

(南相馬市立鹿島中学校)



実践の具体的な内容

- 小学校と連携し、一つの話題について対話を継続できる能力の育成
→帯活動としてTopic Talk を実施
- 小中の連続性を意識した授業づくりの実践
→小学校での学びを想起させるような言語活動の工夫と授業の終末での適用問題の実施
- 単元の最終目標を明確にし、生徒の学びを実感させる振り返りの工夫
→小学校とCAN-DOリストを共有

取組による成果

- Topic Talkを継続したことで相手の応答に応じて対話を継続する力が身に付いてきた。
- 授業の終末に適用問題に取り組ませることで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能として身に付いたか確認しながら指導できるようになった。
- CAN-DOリストを活用し、単元の最終目標が明確になったことで、活動の目的を意識して意欲的に取り組むようになった。

拠点校Ⅱ

(南相馬市立鹿島小学校)



実践の具体的な内容


- 既習事項を使いながら、対話を継続しようとする力
→定期的なSmall Talkの実施
- 自信をもって英語で発表し、コミュニケーションを図る力
→明確な「目的・場面・状況」の設定
- 小中の連続性を意識した授業づくりの実践
→中学校とのCAN-DOリストの共有

取組による成果

- 定期的にSmall Talkに取り組むことで、少しずつ対話を継続する力が付いてきた。
- 相手意識をもたせることで、英語でコミュニケーションを図ろうとする意識が高まってきた。
- CAN-DOリストを中学校と共有することで、中学校の卒業時まで英語で「何ができるようになるのか」を整理し、明確にすることができた。

令和4年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(相双地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

協力校 (南相馬市立八沢小学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> □ 児童の学習意欲向上や、学習内容の定着 →ICTの効果的な活用 □ 英語で話したいという意欲の向上と既習事項を使って対話を続ける力 →協力校同士での外国語科交流授業の実施 □ 鹿島区内小学校同士の連携強化 →拠点校ⅡとのCAN-DOリストの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ICTの効果的な活用により、児童が学習に積極的に取り組んだり、効率的に学習内容の定着を図ったりすることができた。 ○ 交流授業の実施により、互いに刺激を受け、外国語を使ったよりよいコミュニケーションの場となった。 ○ CAN-DOリストを共有することで、鹿島区内で同一歩調で学習を進めることができた。
協力校 (南相馬市立上真野小学校)	<ul style="list-style-type: none"> □ 楽しく英語でコミュニケーションを図ることができる場の確保と学習意欲の向上 →ALTによる児童の関心を高める活動の実施 □ 英語で話したいという意欲の向上と既習事項を使って対話を続ける力 →協力校同士での外国語科交流授業の実施 □ 鹿島区内小学校同士の連携強化 →拠点校ⅡとのCAN-DOリストの共有 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の導入で、ALTによる活動(本時に関連する事項を含んだ内容)を取り入れたことで、児童が英語で表現する楽しさを感じ、英語学習への意欲を高めることができた。 ○ 交流授業の実施により、互いに刺激を受け、外国語におけるよいコミュニケーションの場となった。 ○ CAN-DOリストを共有することで、鹿島区内で同一歩調で学習を進めることができた。